

## 在宅介護実態調査結果について

### ■ 目的

厚生労働省では、軽度・一般高齢者の把握については介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を提示しているが、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討する調査として、「在宅介護実態調査」が示されている。

本調査は量の見込みを算出するものではなく、分析結果をもとに「本人の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の両立を支えるために、どのようなサービスが必要であるかを、地域ごとに議論する際の材料とすることを目的としている。

本調査ではサービス利用の実態とアウトカム（サービス利用の結果）の関係性を調査分析によって明確にしたうえで、今後のサービス整備の方向性を議論していくことを目指す。

「第8期介護保険事業計画」においても取組んだところであるが、継続して調査することで、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討するデータとして活用するため、本調査を実施した。

### 1 実施期間

令和4年12月1日から令和5年3月31日まで

### 2 対象者

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方

※介護保険サービスの利用実績のない、新規申請者については調査対象外

※昭島市内に住民登録を残したまま、他市町村にいる方については調査対象外

### 3 サンプル数

人口が概ね10万人以上の自治体においては、600サンプル数を確保することが望ましいとされていることから、以下のとおり実施した。

依頼件数 647件    有効回答数 613件    有効回答率 94.7%

※依頼数と回答数の差は、調査依頼後の入院、施設入所、調査拒否等によるものである。

### 4 調査項目

厚生労働省が示した内容は、基本調査項目（9問）に加えオプション調査項目（10問）となっているが、本市においては、認定調査員の負担を軽減するため基本調査項目（9問）のみとした。

### 5 集計結果

別紙のとおり



＜集計分析結果＞

(単純集計版)

# 在宅介護実態調査の集計結果

～地域包括ケア推進計画の策定に向けて～

令和5年6月

＜昭島市＞

## 目 次

1 基本調査項目（A票）	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の年齢	[P. 2]
(4) 介護のための離職の有無	[P. 2]
(5) 施設等検討の状況	[P. 3]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 3]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 3]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 4]
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 5]
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 5]
3 要介護認定データ	[P. 6]
(1) 年齢	[P. 6]
(2) 性別	[P. 6]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 7]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 7]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 8]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 8]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 9]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 9]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 10]
参考資料    在宅介護実態調査 調査票	[P. 11～12]

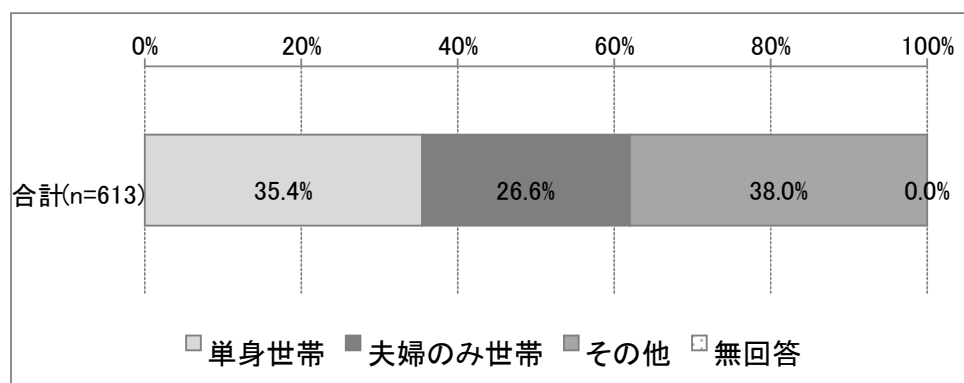
※上記3の要介護認定データは、申請日が令和4年10月1日から令和5年3月31日までで、かつ令和5年3月31日時点で認定を持っている方のデータを抽出したもので、本件調査とは対象人数が異なっている。

## 1 基本調査項目（A票）

### (1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く 38.0%となっている。次いで、「単身世帯（35.4%）」、「夫婦のみ世帯（26.6%）」となっている。

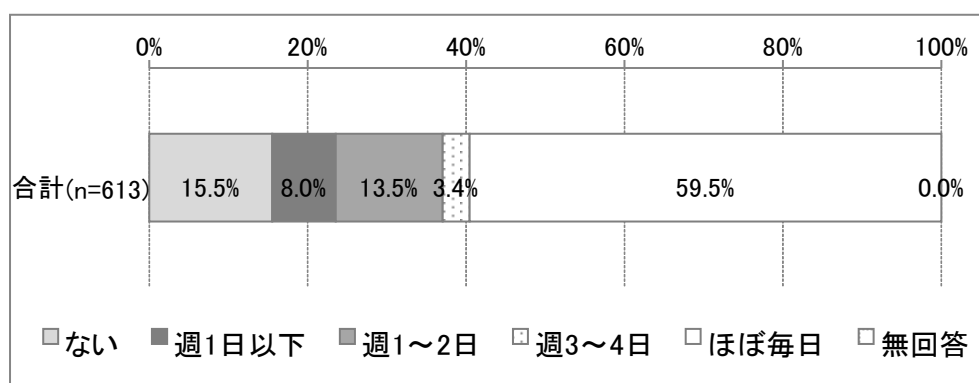
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



### (2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 59.5%となっている。次いで、「ない（15.5%）」、「週1～2日（13.5%）」となっている。

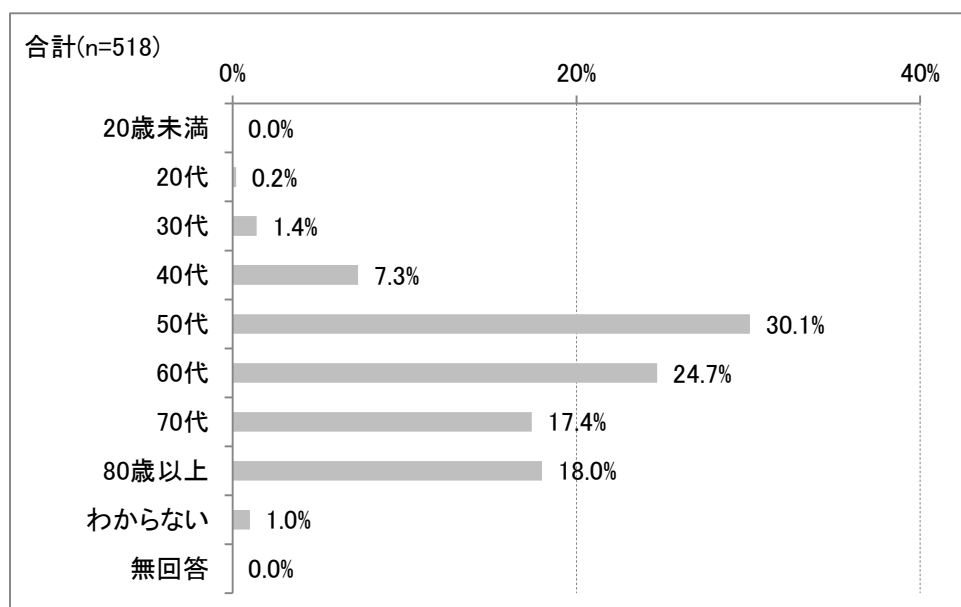
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



### (3) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く 30.1%となっている。次いで、「60代（24.7%）」、「80歳以上（18.0%）」となっている。

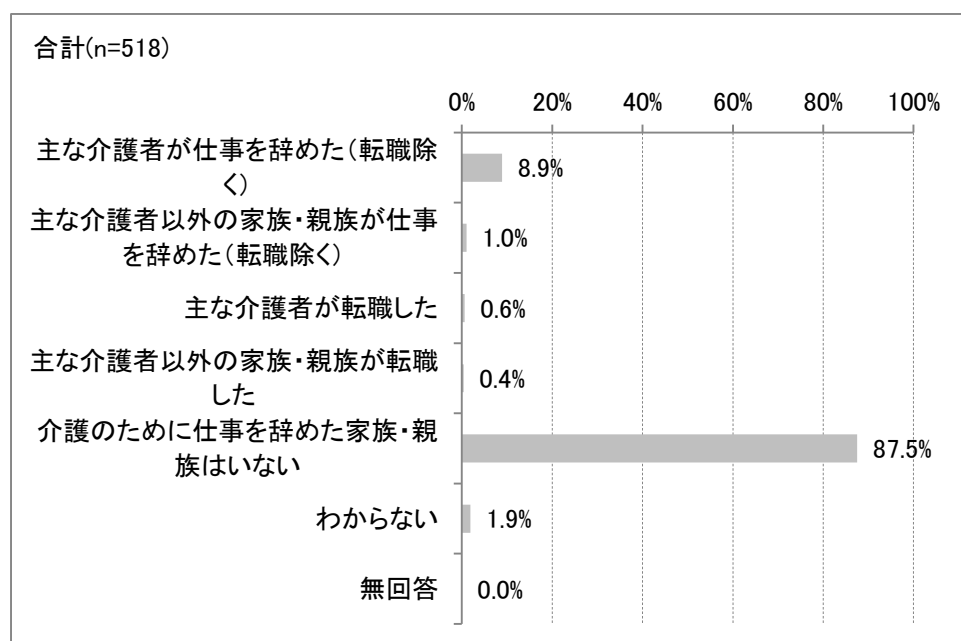
図表 1-3 主な介護者の年齢（単数回答）



### (4) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 87.5%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（8.9%）」、「わからない（1.9%）」となっている。

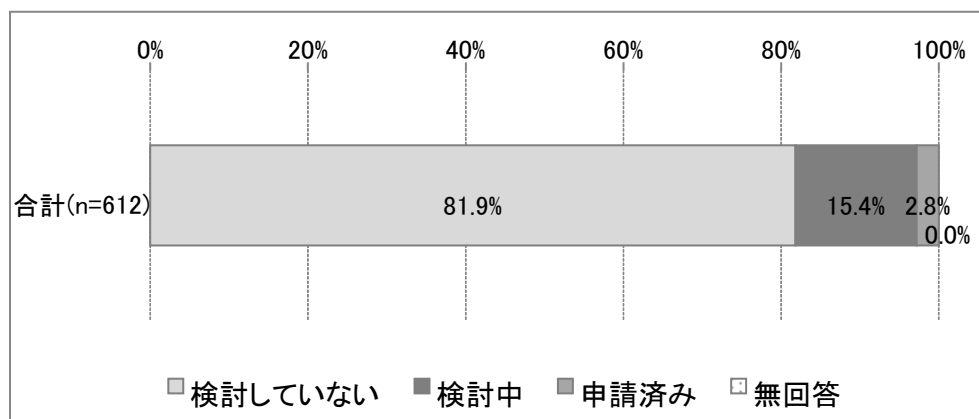
図表 1-4 介護のための離職の有無（複数回答）



## (5) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 81.9%となっている。次いで、「検討中（15.4%）」、「申請済み（2.8%）」となっている。

図表 1-5 施設等検討の状況（単数回答）

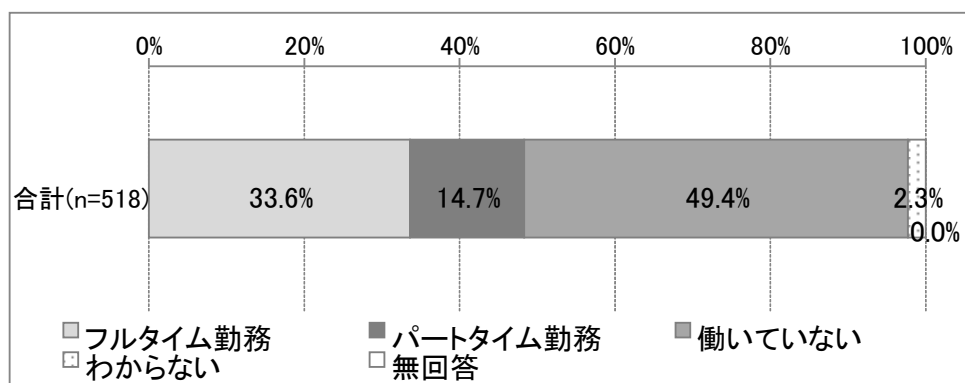


## 2 主な介護者様用の調査項目（B票）

### (1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 49.4%となっている。次いで、「フルタイム勤務（33.6%）」、「パートタイム勤務（14.7%）」となっている。

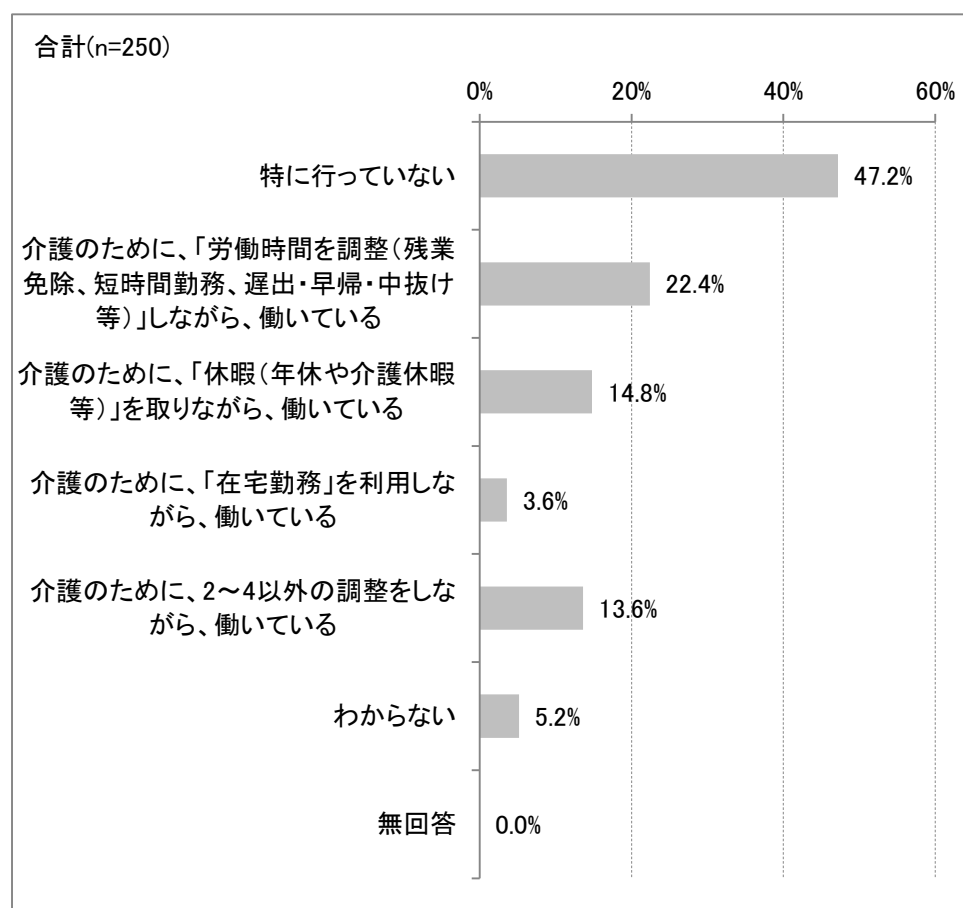
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



## (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 47.2%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（22.4%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（14.8%）」となっている。

図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）

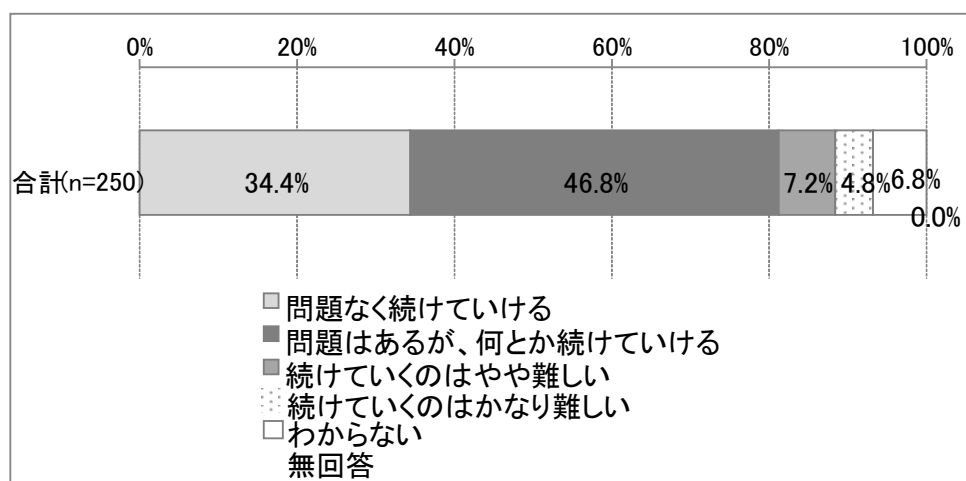




### (3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 46.8%となっている。次いで、「問題なく続けていける (34.4%)」、「続けていくのはやや難しい (7.2%)」となっている。

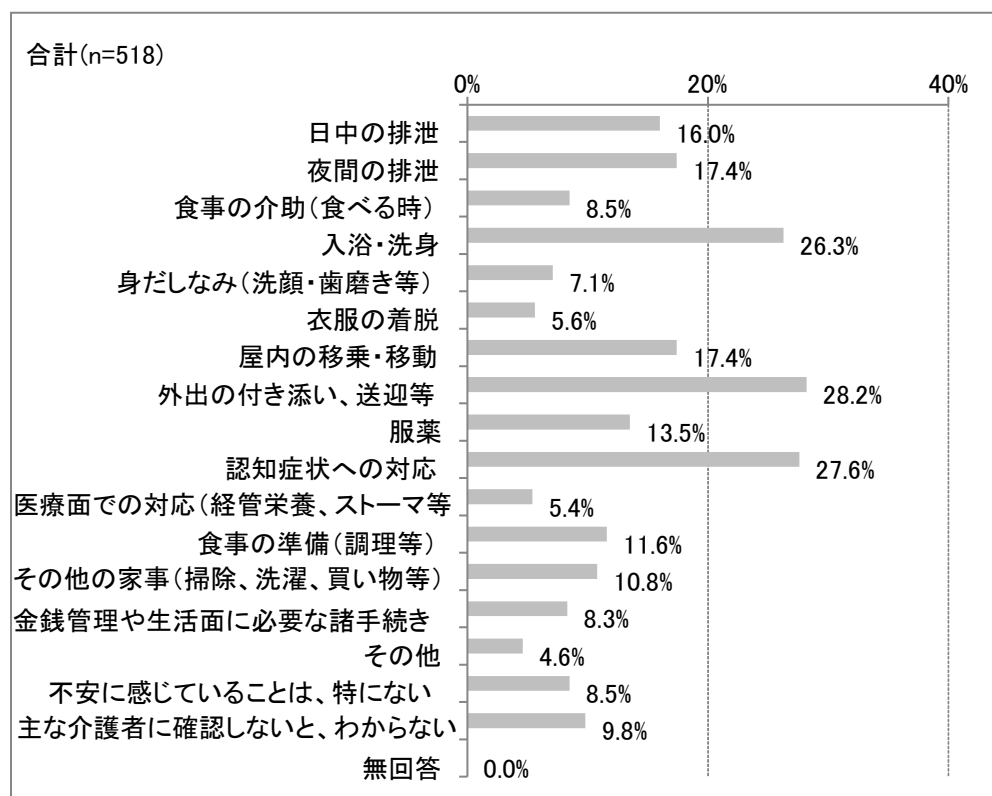
図表 2-3 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



### (4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 28.2%となっている。次いで、「認知症状への対応 (27.6%)」、「入浴・洗身 (26.3%)」となっている。

図表 2-4 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

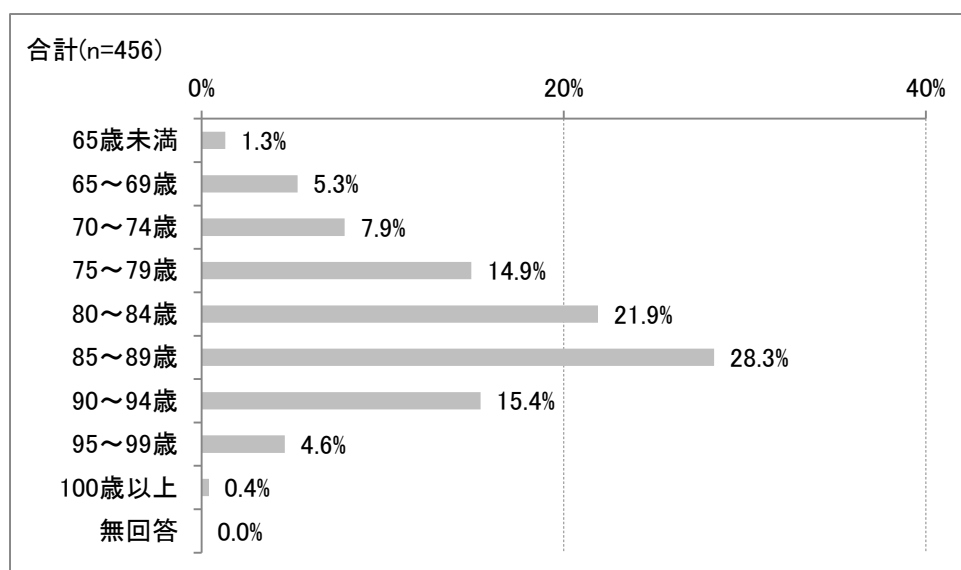


### 3 要介護認定データ

#### (1) 年齢

「85～89 歳」の割合が最も高く 28.3%となっている。次いで、「80～84 歳（21.9%）」、「90～94 歳（15.4%）」となっている。

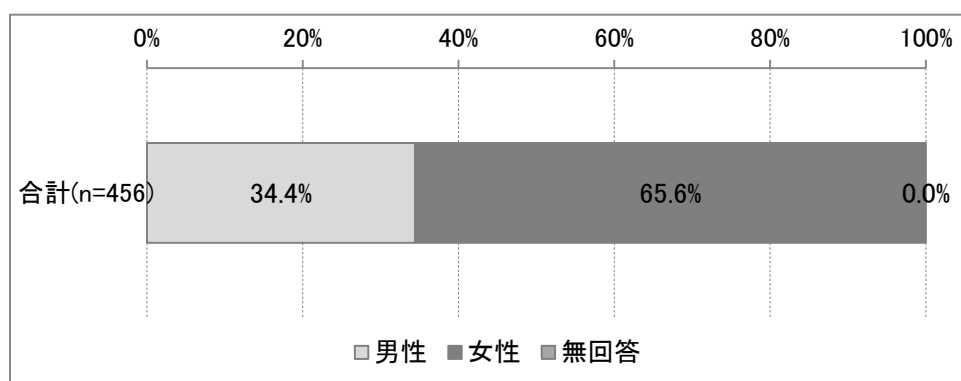
図表 3-1 年齢



#### (2) 性別

「女性」の割合が最も高く 65.6%となっている。次いで、「男性（34.4%）」となっている。

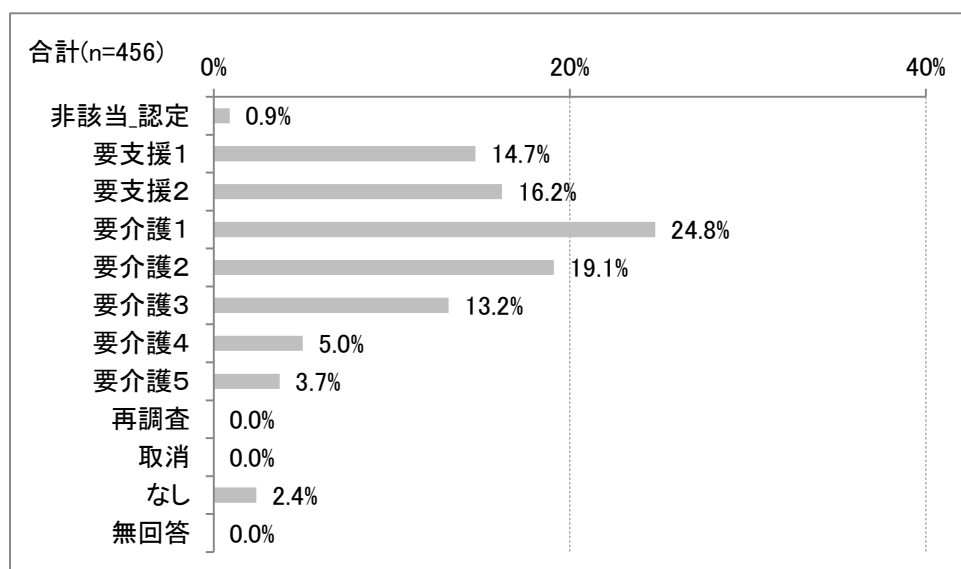
図表 3-2 性別



### (3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く24.8%となっている。次いで、「要介護2（19.1%）」、「要支援2（16.2%）」となっている。

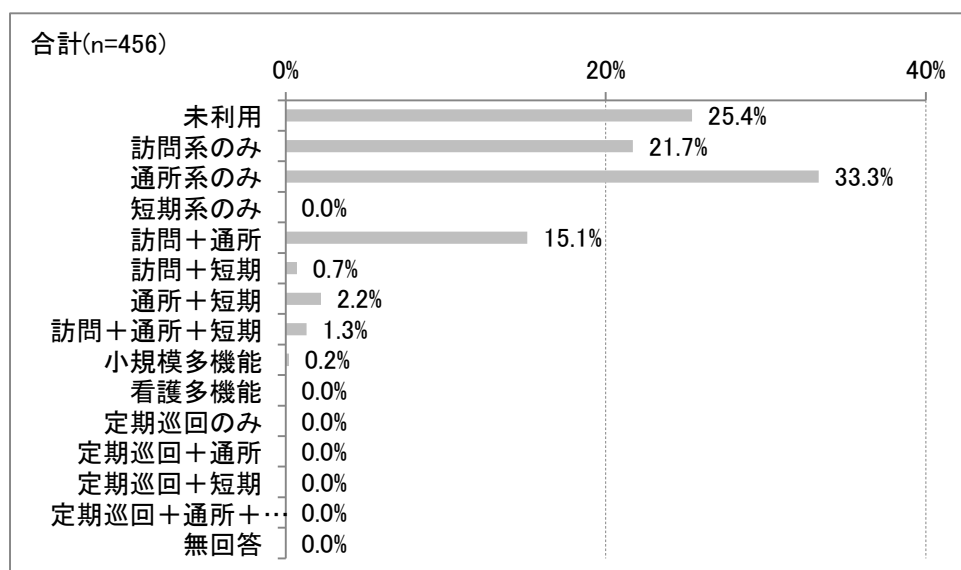
図表 3-3 二次判定結果



### (4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く33.3%となっている。次いで、「未利用（25.4%）」、「訪問系のみ（21.7%）」となっている。

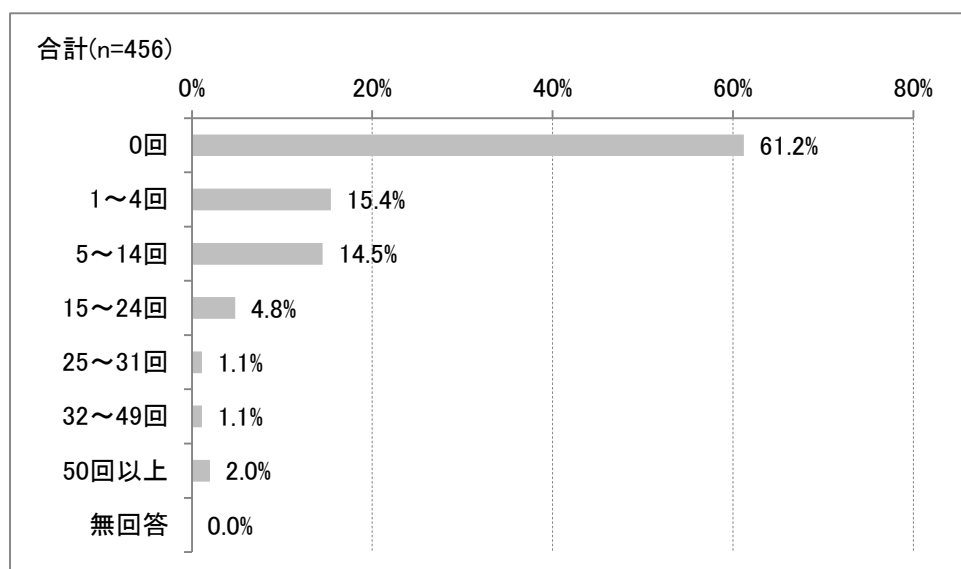
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



#### (5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 61.2%となっている。次いで、「1～4回（15.4%）」、「5～14回（14.5%）」となっている。

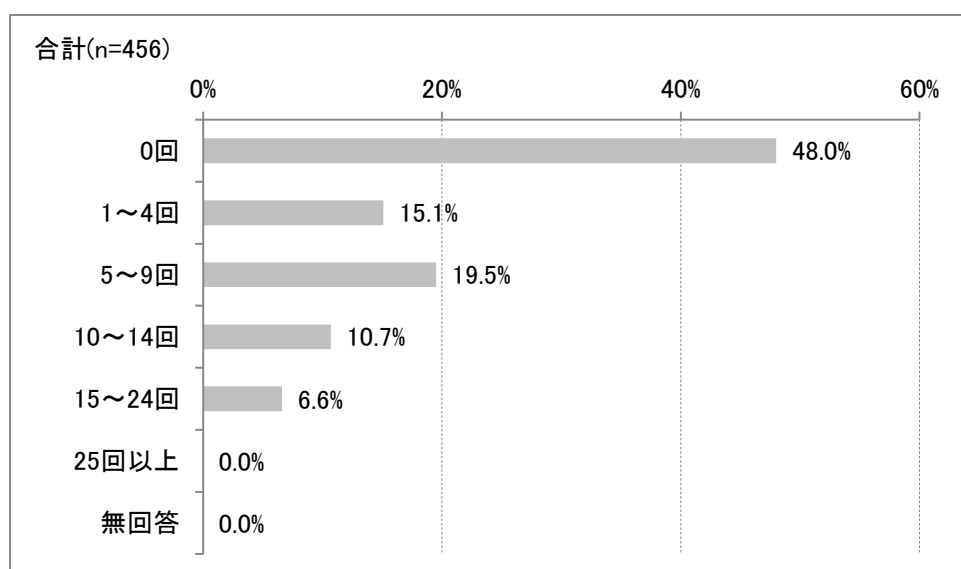
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



#### (6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 48.0%となっている。次いで、「5～9回（19.5%）」、「1～4回（15.1%）」となっている。

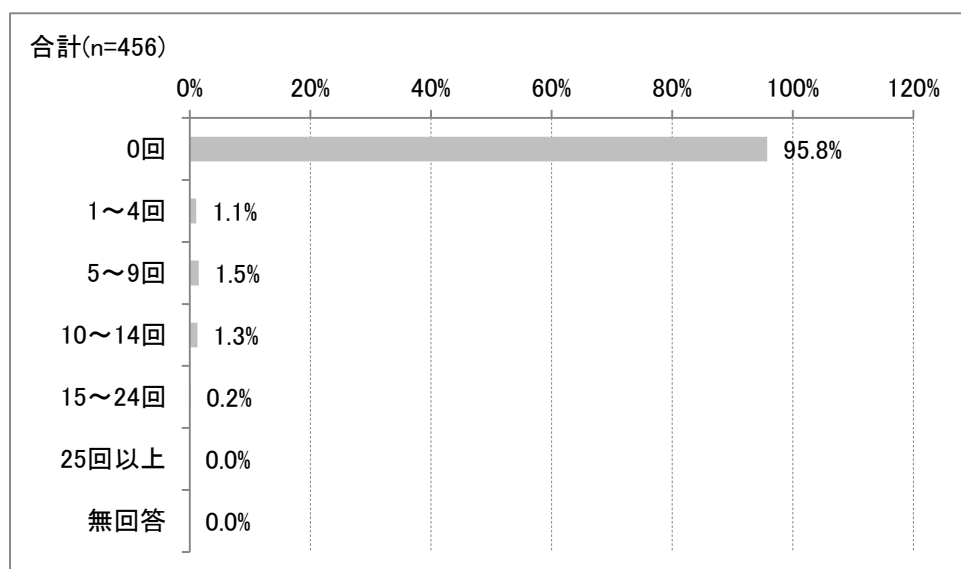
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



### (7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 95.8%となっている。次いで、「5～9回（1.5%）」、「10～14回（1.3%）」となっている。

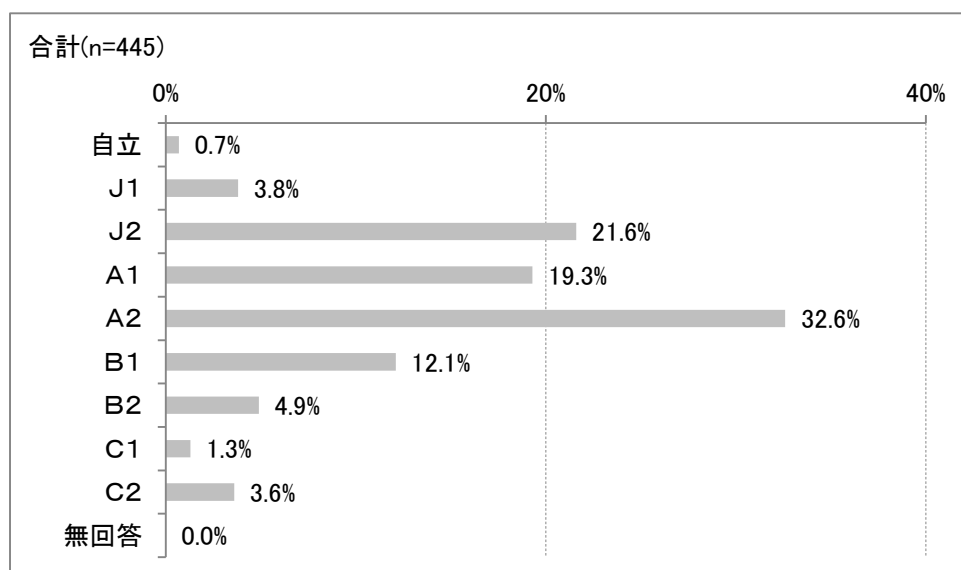
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



### (8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A 2」の割合が最も高く 32.6%となっている。次いで、「J 2（21.6%）」、「A 1（19.3%）」となっている。

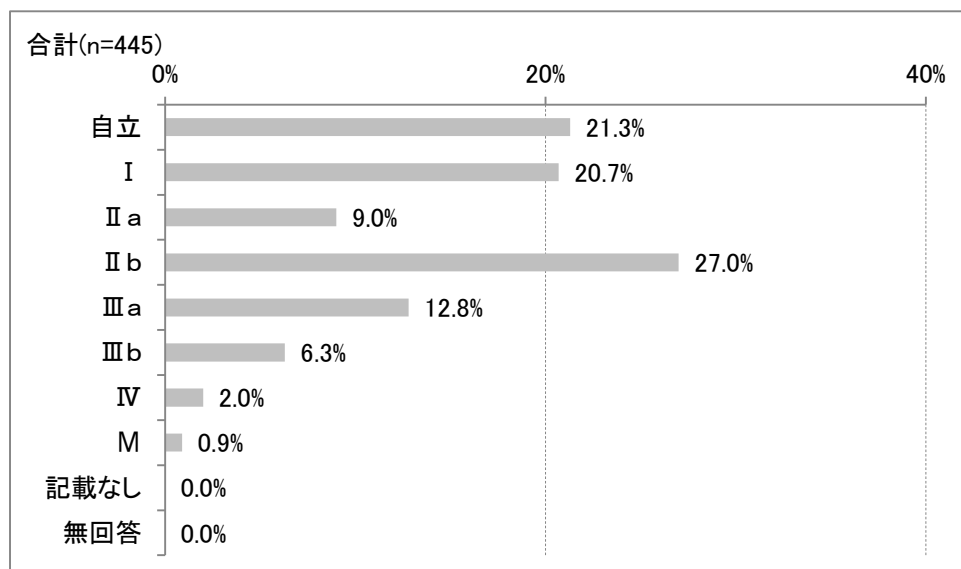
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



### (9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱ b」の割合が最も高く 27.0%となっている。次いで、「自立 (21.3%)」、「Ⅰ (20.7%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



(参考資料)

## 基本調査項目のみ

## 在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[ ]

### 【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

### A 票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問5を回答し、調査は終了です

問3～問5を回答し、B票へ

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20 歳未満
2. 20 代
3. 30 代
4. 40 代
5. 50 代
6. 60 代
7. 70 代
8. 80 歳以上
9. わからない

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

### ● ここから再び、全員に調査してください。

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

## 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入 頂く項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない

問2～問4へ

4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

### ● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)
12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他
16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。